

花芽着生の増進効果について、スターキング、ふじ、ゴールデンを対象に青森りんご試、秋田果試、長野園試、富山農試で試験が行われた。

その結果、新梢抑制効果は1部の県で対照薬剤Bナイン93に劣る試験例もみられたが、両製剤間に差がないとする試験例が多く、Bナイン93と同等の効果とみられたが、花芽着生への効果については検討が十分でなく、その確認が必要との事で継続と判定した。

② F-2：継続

成分未公開の50%水溶剤で、収穫前落果防止、果実の品質・貯蔵性の増進効果について青森りんご試、秋田果試、長野園試、富山農試、

岩手園試、秋田果試花輪分場で試験が行なわれた。品種としてはスターキングのほかゴールデン、紅玉、王鈴も一部場所で供試されている。

収穫時の果実品質についての調査では対照として用いたBナインと同様の効果がみられたとする場所、また全く処理の影響がみられないとする場所もあり、処理効果に結果の不一致がみられている。貯蔵性への影響については調査中であるが、富山農試からはゴールデン、王鈴で収穫後の日持ちが良いと報告された。処理濃度としては1,000ppm以上が必要と思われる。判定は試験1年目であることから継続とした。

新 登 録 除 草 剤 一 覧

農 林 省 農 政 局 植 物 防 疫 課

昭和47年4月1日～5月31日

分類	種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用場所又は対象作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
非ホルモン型	DBN 除草剤	カソロン粒剤 6.7	2,6-ジクロロベンゾニトリル 6.7%	粒剤	りんご	1年生雑草	全土壌	春期の雑草発生初期	8～12Kg	散布	兼 商
					桑		砂土及び赤黄色土壌（非火山灰性土壌）を除く全土壌	雑草発生前～発生初期（春及び夏切直後）	6～8Kg		
					りんご	ギンギン、ヨモギ、タンポポ、ヤブカラシなどの多年生広葉雑草	全土壌	春期の雑草発生初期	8～10Kg		
					みかん			雑草の生育期			
					牧野草地	イネ科牧草 マメ科牧草	ヤブカラシ ギンギン ヨモギ	雑草の出芽展葉期	1株当り 1～2g		

分類	種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用場所又は対象作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10 a 当り使用量	使用方法	登録会社	
非 ホ ル モ ン 型	アメ ト リン 除 草 剤	日産ゲ ザパッ クス乳 剤 25	2-メチルチオー 4-エチルアミノ -6-イソプロピ ルアミノ-S-ト リアジン 25%	乳剤	かんきつ	畑作1年生 雑草	全土壌	雑草の草 丈が30 ～50cm 程度	1～1.5ℓ (散布液量 150～ 300ℓ)	雑草茎葉 処理	日産化学 工業	
					桑		洪積土壌	春期雑草 発生前及 び夏切後 雑草発生 盛期	500～ 750cc (散布液量 100～ 200ℓ)	土壌雑草 処理		
	EPT C除 草 剤	日産エ ブタム 粒剤	S-エチル-N, N-ジノルマルブ ロピル-チオーカ -バメイト	粒剤	北海 道	てんさい いんげ んまめ ばれい しょ	1年生雑草 及び多年生 イネ科雑草	全土壌	播種前及 び移植前	5Kg 6～8Kg	手まき又 は除草剤 散粒機で むらなく 散布し、 直ちに土 壌混和後 播種又は 移植する	日産化学 工業
		日産エ ブタム 乳剤	同上 75%	乳剤	北海 道 (空知を除く)	てんさい いんげ んまめ	1年生イネ 科雑草及び 広葉雑草	火山灰	(直播栽培) 播種前 (移植栽培) 移植前	400～ 600cc (散布薬量 50～ 70ℓ)	散布後直 ちに5～ 10cmの 深さで土 壌と混和 する	日産化学 工業
					いんげ んまめ			播種前	300～ 400cc (散布薬量 50～ 70ℓ)			
	テトラ ピオン 除 草 剤	フレノ ック粒 剤 4	2,2,3,3-テトラ ルオルプロピオン 酸ナトリウム 4%	粒剤	開こん地 下刈地 (スギ、ヒ ノキ) 地ごしらえ 地	ススキ ササ	全土壌	秋冬期 ススキの 出芽初期	7～12Kg	全面均一 散布	三共、 北海三共、 九州三共、 ダイキン 工業	
								秋冬期 ササの出 芽初期	5～10Kg			

分類	種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用場所又は対象作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
非 ホ ル モ ン 型	ジフェ ナミド 除草剤	エナイ ド	N,N-ジメチル -2,2-ジフェニ ルアセトアミド 50%	水和 剤	とま と 露地	畑作1年生 雑草 (ただし、 ナス科・キ ク科の雑草 及びツユク サを除く)	全土壌	定着後 雑草発生 前	600～ 800g	10アール 当り100 ℓの液量 を散布 株間土壌 処理	日本農薬、 山本農薬、 日本アッ プジョン
					親株床			定植 活着後 雑草 発生前	400～ 800g		
					本畑 施設マ ルチ栽 培 露地マ ルチ栽 培			定植後及 びマルチ 前の2回 雑草発生 前	300～ 500g		
					露地栽 培			定植 活着後 雑草 発生前	400～ 800g		

「訂正」 6巻1号21ページにおいて、オキサジアゾン除草剤(ロンスター粒剤)をホルモン型除草剤として記載しましたが、本薬剤は非ホルモン型除草剤です。訂正します。

新登録生育調節剤一覧

農林省農政局植物防疫課
昭和47年4月1日～5月31日

農薬名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名	使用目的	使用時期	使用量又は希釈倍数	使用方法	登録会社
ユゴーザイ F1	α-ナフタリン酢酸 ナトリウム0.004% 硫酸オキシキノリン 0.180%	液剤	りんご	切口の癒 合の促進	剪定直後	直径5cmの 切口に 約2g	切口に塗布	富士薬品 工業
				腐らん病 の防除	4～6月頃	塗布部100 cm当り約 10～20g	病患部を削り とったあとに 塗布	